

平成 27 年度第 6 回総合教育会議 会議録

1. 開催日時 平成 28 年 2 月 15 日（月） 14:00～14:45
2. 開催場所 岸和田市役所職員会館 2 階大会議室
3. 公開・非公開 公開
4. 出席者（構成員）信貴市長、谷口委員長、野口委員長職務代理者、中野委員、川岸委員、樋口教育長
（司会）企画調整部：森口部長
（事務局）政策企画課：藤浪課長、藤井総合調整担当主幹
（関係者）教育総務部：西川部長、総務課：大西課長、高井調整参事
学校教育部：須賀部長、学校教育課：松村課長
生涯学習部：松阪部長、生涯学習課：大和課長
5. 傍聴人数 0 名
6. 会議資料
 - ・平成 27 年度第 6 回総合教育会議 次第
 - ・資料 1 岸和田市総合教育会議委員名簿
 - ・資料 2 岸和田市教育大綱（素案）に係るご意見一覧
 - ・資料 3 岸和田市教育大綱（素案）に係る意見要旨と市及び教育委員会の考え方
 - ・資料 4 岸和田市教育大綱（案）

7. 内 容

<司会>

それでは只今から、平成 27 年度第 6 回岸和田市総合教育会議をはじめさせていただきます。会議の進行を務めさせていただきます、企画調整部の森口でございます。よろしくお願いいたします。はじめに、信貴市長から開会の挨拶をお願いいたします。

<信貴市長>

この総合教育会議も数えること 6 回目となりました。平素は、委員の皆様方におかれましては、岸和田市の教育行政の充実及び発展に多大なるご尽力を賜り、感謝申し上げます。

教育、とりわけ子どもたちの育成環境は、私の公約であります「子どもを産み、育てやすい岸和田」を実現するにあたり、重要な施策のひとつであると考えております。前回も触れましたが、学校給食につきましては、安全安心で栄養バランスのとれた食事を提供し、子どもたちの健やかな成長を育むものです。この秋からはじまります中学校給食、そしてアレルギー対応につきましても、前回、岸和田らしさを出していただくように申し入れをしたところでございます。対象の子どもたちの視点を大切に、メニューの工夫、そして早い時期からの検証を行っていただくこと、それが岸和田らしい教育につながると思っておりますので、この点につきまして、よろしくお願いいたします。

本日は、年明けより実施してまいりましたパブリックコメントの結果を受けて、岸和田市教育大綱を確定してまいりたいと思いますので、委員の皆様におかれましては、活発なご議論をお願いしまして、私の開会の挨拶とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

<司 会>

続きまして、本日の会議の会議録をご確認いただく委員の方の選任を行います。岸和田市総合教育会議運営要綱第4条第2項の規定より、市長と、市長が指名した出席者1名の方に会議録をご確認の上、ご署名いただきます。

資料1の委員名簿順ということで、本日は、谷口委員長にお願いします。谷口委員長よろしくお願いいたします。

それでは、次第に沿いまして、会議事項「2. 教育大綱の策定について」、事務局から資料の説明をお願いします。

<事務局>

それでは資料2から資料4について、ご説明いたします。まず、「資料2：岸和田市教育大綱（素案）に係るご意見一覧」をお願いします。これは、1月4日から2月4日に実施いたしました「教育大綱（素案）」についてのパブリックコメントでいただいたご意見です。頂戴した文面をそのまま一覧にしたものです。次に「資料3：岸和田市教育大綱（素案）に係る意見要旨と市及び教育委員会の考え方」をお願いします。これは、先ほど説明させていただきました「岸和田市教育大綱（素案）」に係るパブリックコメントで頂戴した9名の方からのご意見について、ご意見の要旨と、そのご意見に対する市及び教育委員会の考え方として、事務局案をまとめたものです。

まず、1つ目は基本方針4についてのご意見で、「これまでどおりのアレルギー対応を続けていただきたい」との内容を8件いただきました。今回のパブリックコメントは、教育・学術及び文化の振興について、その目標や施策の基本的な方針を示す「教育大綱」の素案に対するもので、本件は具体的な事業についてのご意見ですので、右端の「考え方」の欄に記載のように整理しております。

次に、2つ目ですが、基本方針5についてのご意見で、「教職員の資質向上が重要であることから、人材の確保や育成の仕組みづくり、職場環境づくり等も考えていただきたい」との内容を1件いただきました。これについては、教育における教職員の指導力の向上は重要であるとの観点から、素案では「研修を充実させます」としていたものを、研修のみにとどまらないことを明確にするため、「研修などの支援体制を充実させます」と修正してはどうかと考えています。

最後の3つ目ですが、同じく基本方針5についてのご意見で、「小・中学校をとおして、1クラス35人以下の少人数学級の早期実現を望む」とのご意見を1件いただきました。これについては、1つ目のご意見と同様に、大綱素案の内容に対するご意見ではなく、具体的な事業についてのご意見ですので、右端の「考え方」の欄のように整理させていただいています。

次に、「資料4：教育大綱（案）」をお願いします。前回の第5回総合教育会議で各委員からいただいたご意見につきましては、市長と委員長に、その修正を確認いただいた上で、パブリックコメントを実施させていただくこととなっていました。その修正箇所のご報告とともに、案について説明させていただきます。

表紙をお願いします。サブタイトルを追加しています。

開いていただいて、左の頁をお願いします。位置付けの図と、対象期間を示した図の下における“教育実施計画”という表記を削除しています。

右の頁をお願いします。現状と課題の2行目中ほどの「核家族化の進行等」の“等”を追記、6行目右端の「全国学力・学習状況調査結果～」から9行目の中ほどの「～努める必要があります。」までの文章を修正、同じ頁の下、基本理念の文章部分を修正しております。

資料を開いていただき、施策の方向性については、基本方針3-③、1行目中ほどの「存在感を確立」、その2つ下、⑤の「国際性を育む教育」の見出しと、1行目の「我が国」と「尊重」、その下、⑥の「夢や志を育むキャリア教育」の見出し、少し飛びますが、基本方針5-⑤、最後のところを、先ほどパブリックコメントでご説明させていただいたように、「研修などの支援体制を充実させます」に修正、基本方針8-①の本文、最後のところを「～に取り組みます。」に修正しています。

最後に、裏表紙をお願いします。「志」の実の追加と、キーワードの順番を整理しています。また、右下の四角囲みの中の「編集」のところですが、4月からの機構改革により、政策企画課から課名が変更となる予定ですので、併せて報告させていただきます。資料の説明は以上です。

<司 会>

本日が、教育大綱策定に向けた最後の会議になります。只今、事務局から説明がありましたとおり、前回の会議でご意見をいただきました修正箇所の確認と、また年明けから実施しましたパブリックコメントのご意見に対する考え方について、ご意見をいただきたいと思っておりますので、よろしくをお願いします。

まず、パブリックコメントのご意見に対する考え方について、いかがでしょうか。

<谷口委員長>

事務局から説明いただきましたように、アレルギー対応の件、少人数学級の件につきましては、教育大綱に表現を加えることは馴染まないと思います。

また、パブリックコメントの1件目のご意見では、大変厳しいお言葉もありましたが、教育大綱の策定にあたっては、実現性の視点も大事だと思います。ご意見を真摯に受け止めて、今後の参考にさせていただくことになると思っています。

<樋口教育長>

教育大綱の素案に対する意見聴取ですので、事務局作成の「市及び教育委員会の考え方」に記載のように、今後の検討の一助にさせていただくという考え方で良いと思います。

<野口委員長職務代理者>

アレルギーを持つ子どもたちの保護者にとっては日々のことですので、ご苦労もお在りかと思いますが、教育委員会として、安心・安全を保つための一定の線というものが必要だと思いますので、ガイドラインに沿ってということ、記載の考え方で良いと思います。ただし、教育委員会としても、保護者の皆様の気持ちを汲み取りながら、できるところは努力していくという姿勢をお示しできればと思いますので、いただいたご意見に対する市及び教育委員会の考え方について、「学校給食の具体的な運用にかかる検討を」というように“具体的な”を加え、できることをやっていくという姿勢をお示しする方が良いと思います。

<川岸委員>

アレルギー対応の件については、署名運動をされていると聞いております。一保護者としては、今まで出来ていたことが、なぜ出来なくなるのかという気持ちも解りますし、ガイドラインに沿った対応をと言う教育委員会の立場も理解できます。教育大綱としては、児童・生徒全体に対しての“安全・安心な給食を提供する”ということがメインなので、現在の表現で良いと思います。今後、教育委員会として、また市として、命に係ることですので、アレルギーの件について真摯に対応していくことが大切と感じています。

生徒指導や教職員の件に関しても、これから向上するようという方向性を盛り込んだ教育大綱になっていると思いますので、本教育大綱の下、良い方向に進んでいければと思います。

<中野委員>

教育大綱についてもそうですが、具体的な教育施策についても、市民に理解を深めていただけるように、情報発信をしっかりとしていく必要があると思います。学力向上に関しても、先月27日に教育フォーラムを実施しましたが、子どもたちは勿論のことですが、先生方も情報を共有することによって自信を深めていく、そういう取組が必要だと思います。具体的にありますが、各学校園で実施している学校園だより・学年だより・学級通信・ホームページにおいて情報を発信し、現在、取り組んでいる状況を知ってもらう必要があると思います。

35人学級についても、これは必要なことですので、実施に向けて理解を深めていただけるような情報発信をしっかりとしていく必要があると思います。

食物アレルギー対応の件についても、文部科学省の指針、また本市のガイドラインにおいても、「保護者の理解を深める」という表現が何箇所かに出ています。そのための取組や検証をしっかりとしていく必要があると思います。

このように全般を通じて、現在、考えていること、取り組んでいることを、しっかりと発信していく必要があると思います。

<司 会>

それでは、パブリックコメントのご意見に対する市及び教育委員会の考え方については、“具体的な”を追記し、発信させていただくということで、よろしいでしょうか。

(委員一同 了承)

続いて、教育大綱案について、前回のご意見を反映しておりますが、これについて、ご意見等ありましたらお願いします。

(委員一同 意見なし)

本内容を以って、本市の教育大綱とすることについて、了承ということでよろしいでしょうか。

(委員一同 了承)

それでは続いて、次第の「3.その他」に移ります。せっかくの機会ですので、これからの総合教育会議の運営について、一言ずつご意見を頂戴できればと思います。はじめに、信貴市長からお願いします。

<信貴市長>

今年度は、計6回の総合教育会議を開催し、その都度活発なご議論をいただき、誠にありがとうございました。来年度以降も、総合教育会議を年に数回程度、また議題が生じた際には速やかに開催させていただくということで進めてまいりたいと考えております。今後、この教育大綱に基づいて、岸和田らしさを大切に、そして岸和田の教育が全国に誇れるものとなるよう、教育委員会と市長部局が綿密に連携して取り組んでまいりたいと思っております。今後も変わらぬご理解とご支援を切にお願い申し上げます。

<谷口委員長>

一回目の会議でも申し上げましたが、総合教育会議の構成員は、教育委員と市長ですが、市民の声を直接聴くという取組として、京都市では、保護者参加による拡大版総合教育会議を開催されているようです。そのような取組も参考になるのではないかと思います。パブリックコメントも良いですが、直接、市民のご意見を聞くことも意義があると思いますので、検討いただければと思います。

<野口委員長職務代理者>

先日、京都大学で行われた文部科学省主催の研修に参加させていただきました。変化する難しい社会情勢の中で、教育は学校の中だけでは済まない時代にきているという見解が示されました。教育委員会だけではなく、教育のために、子どもたちのために、教育委員会と市長部局とが、しっかりとスクラムを組んで進んでいかなければならないということが、具体的に12月の中央教育審議会で答申として示され、そのことを勉強させていただきました。岸和田市でも大事なことだと思いますし、今回、教育大綱の策定過程を通じて、一步一步進んできたのではないかと感じています。これからも市民の意見を汲み取れるような総合教育会議を開催し、市民の目線で、岸和田の教育が進められるように、しっかりと連携していければと思っております。

<中野委員>

去る1月15日に文部科学省主催の市町村の教育委員の研究協議会があり、総合教育会議における委員の意見について、個人の意見であっても、しっかりと意見を述べるのが、基本であり、大切であるという文部科学省の見解がありました。教育委員会の考え方を、教育委員会の中にも様々な考え方があることも含めて、市民に広く知っていただくことが大事なことだと思います。そのために、識見を広めること、日頃から研鑽を深めることが必要だと思います。

また、総合教育会議の議事録についてですが、第5回の私の発言に気になる箇所がありました。議事録署名者は、他の委員の発言の内容までは、なかなか真意をつかめない面があります。教育委員会の会議においては、議事録署名者が署名する前に、委員全員に議事録が配布され、目を通すことができます。総合教育会議において、記載内容について確かめたい場合には、議事録配布後の何日以内にどこに問い合わせたら良いかなどのルール作りをしていただければと思います。

<川岸委員>

先日、教育委員と校長先生とでお話しをする機会があり、知らない内容や先生方のご苦労を知りました。総合教育会議において、市民の声だけでなく、校長先生や生涯学習に携わっ

ている方と、市長も交えてお話しできる機会が、年に一度でもあれば良いと感じたところで
す。検討の際には、その点についても、よろしくをお願いします。

<樋口教育長>

今年度、計6回の総合教育会議を重ねてまいりましたが、その間にいろいろなご意見をお
伺いしながら、教育施策について十分に議論できたことは有意義であったと思います。次年
度以降、この大綱の進行管理を、きっちりと進めていくべきと思っております。併せて、市
長も、まちづくり・ひとづくりには、教育が大事であると仰っています。教育委員会の考え
方も同じだと思えます。教育に、しっかりと軸足を持って、キーワードである「市民が輝く」
という観点で、今後も総合教育会議において議論をし、そして教育の課題も、市長を交えて
共有できればと思っております。

<司 会>

今年度最後の会議ですので、他にご意見等ございましたらお願いします。

<谷口委員長>

先程の補足ですが、市民の声をお聞きする際には、児童・生徒の保護者の方は勿論のこと
ですが、高齢化社会の現代において、人口の1/4が高齢者ですので、生涯学習の観点からも、
高齢者のご意見をお伺いすることも重要であると思えます。

<中野委員>

総合教育会議の中で、何度も申し上げてきたことですが、教育委員会の主体性について、
我々は強く意識していかなければならないと思っております。それと併せて、総合教育会議が
設置された趣旨であります、市長と共に民意を汲み取っていくこと、その両方が必要なこと
であると思っております。

<司 会>

只今、各委員からいただきましたご意見を、来年度以降の総合教育会議の運営に反映させ
ていきたいと思っております。

それでは最後に、事務局から、連絡事項等ありますでしょうか。

<事務局>

総合教育会議の来年度の開催につきましては、本日、頂戴しましたご意見を踏まえ、議題
や開催形態等を検討させていただきます。具体的な日程等につきましては、改めて調整をさ
せていただきたいと思いますので、よろしくをお願いします。

<司 会>

本日の会議事項は、全て終了となります。それでは、市長、閉会の挨拶をお願いします。

<信貴市長>

委員の皆様方におかれましては、貴重なご意見をいただきありがとうございました。それ
では、これをもちまして、第6回総合教育会議を閉会いたします。ありがとうございました。

市 長

署名委員